



ID: 1345

科目名	建築倫理【26年度生用】			コード			
英語表記	Engineering Ethics in Architecture						
担当教員名	本田 実			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
現代社会の様々な事例を取り上げながら建築計画・建築設計・建築施工の実務上の社会条件の違い、組織と個人の関係における社会システムの実情を踏まえ、建築設計者・建築技術者の職務上の倫理の重要性を解説し説明する。							
到達目標							
(1) 専門家がその専門知識に通じ間違いのない仕事をする必要を理解する。(2) 技術者に必要な倫理教育の社会的背景を理解する。(3) 組織の倫理と個人の倫理のあり方について理解する。							
授業計画							
第1回	倫理学の概要(建築倫理の定義)						
第2回	事件事例に学ぶ(チャレンジャー号爆発事故)						
第3回	事件事例に学ぶ(公的分譲住宅の欠陥問題TAMA new taun)						
第4回	事件事例に学ぶ(Citicorp Center)NEW YORK CITY						
第5回	論文(失敗や模範事例について、自分がどう対処すべきか)						
第6回	建築倫理の基礎(ANA world scope)						
第7回	倫理学の基礎知識						
第8回	西洋の論理基盤						
第9回	個人の倫理とシステムの倫理						
第10回	システム倫理の分水嶺						
第11回	システムとしての倫理遵守						
第12回	現代の技術者に見る倫理観						
第13回	建築実務と建築倫理の諸条件						
第14回	建築倫理学の教訓と戒						
第15回	これからの建築倫理展望						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
*出席 *授業態度 *レポート *その他			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	20	50	
授業外学習			テキスト、教材				
			建築倫理学(オリジナルテキスト)				
参考書			受講生へのメッセージ				
キーワード							